

請求の範囲

- [請求項1] カプトガニB因子のポリペプチドのアミノ酸配列において193位のアミノ酸残基がシステイン（Cys）残基に置換されたアミノ酸配列を有するポリペプチド。
- [請求項2] 下記（A）～（D）のいずれかに示されるポリペプチド。
- （A）下記（A1）又は（A2）に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド。
- （A1）配列番号7におけるアミノ酸番号1～400で示されるアミノ酸配列。
- （A2）配列番号7におけるアミノ酸番号24～400で示されるアミノ酸配列。
- （B）下記（B1）又は（B2）に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド。
- （B1）配列番号10におけるアミノ酸番号1～400で示されるアミノ酸配列。
- （B2）配列番号10におけるアミノ酸番号24～400で示されるアミノ酸配列。
- （C）上記（A）又は（B）に示されるポリペプチドのアミノ酸配列において1個若しくは複数個のアミノ酸残基が置換、欠失、挿入、及び／又は付加されたアミノ酸配列（ただし、193位のシステイン（Cys）残基は置換も欠失もされない）を有し、かつカプトガニB因子の機能を有するポリペプチド。
- （D）上記（A）～（C）のいずれかに示されるポリペプチドにペプチドタグを付加してなる融合ポリペプチドのアミノ酸配列を有し、かつカプトガニB因子の機能を有するポリペプチド。
- [請求項3] 請求項1又は2に記載のポリペプチドをコードする核酸。
- [請求項4] 下記（a）～（d）のいずれかに示されるDNA。
- （a）下記（a1）～（a4）のいずれかに示される塩基配列を有す

るDNA。

(a1) 配列番号5における塩基番号1～1200で示される塩基配列。

(a2) 配列番号5における塩基番号70～1200で示される塩基配列。

(a3) 配列番号6における塩基番号1～1200で示される塩基配列。

(a4) 配列番号6における塩基番号70～1200で示される塩基配列。

(b) 下記(b1)～(b4)のいずれかに示される塩基配列を有するDNA。

(b1) 配列番号8における塩基番号1～1200で示される塩基配列。

(b2) 配列番号8における塩基番号70～1200で示される塩基配列。

(b3) 配列番号9における塩基番号1～1200で示される塩基配列。

(b4) 配列番号9における塩基番号70～1200で示される塩基配列。

(c) 上記(a)又は(b)に示されるDNAと相補的な塩基配列からなるDNAとストリンジェントな条件でハイブリダイズするDNA(ただし、塩基番号577～579で示される塩基は保存されている)であって、かつカプトガニB因子の機能を有するポリペプチドをコードするDNA。

(d) 上記(a)～(c)のいずれかに示されるDNAにペプチドタグをコードするDNAを付加してなる融合DNAの塩基配列を有し、かつカプトガニB因子の機能を有するポリペプチドをコードするDNA。

- [請求項5] 請求項3に記載の核酸、及び／又は請求項4に記載のDNAを保持するベクター。
- [請求項6] 請求項3に記載の核酸、請求項4に記載のDNA、及び／又は請求項5に記載のベクターを保持する細胞。
- [請求項7] 請求項6に記載の細胞を用いてカプトガニB因子の機能を有するポリペプチドを生成させる工程を含む、ポリペプチドの製造方法。
- [請求項8] 請求項7に記載された方法により得られるポリペプチド。
- [請求項9] 下記(1)及び(2)の工程を含む、エンドトキシンの測定方法。
(1) 請求項1、2又は8に記載のポリペプチド、カプトガニC因子、及び被験試料を混合する工程。
(2) 上記ポリペプチドのプロテアーゼ活性を測定する工程。
- [請求項10] 請求項1、2又は8に記載のポリペプチドを構成成分として含む、エンドトキシン測定用試薬。
- [請求項11] 請求項1、2又は8に記載のポリペプチド又は請求項10に記載の試薬を構成成分として含む、エンドトキシン測定用キット。